

がん相談業務 (院内におけるピアサポート)

相談記録シート集計報告

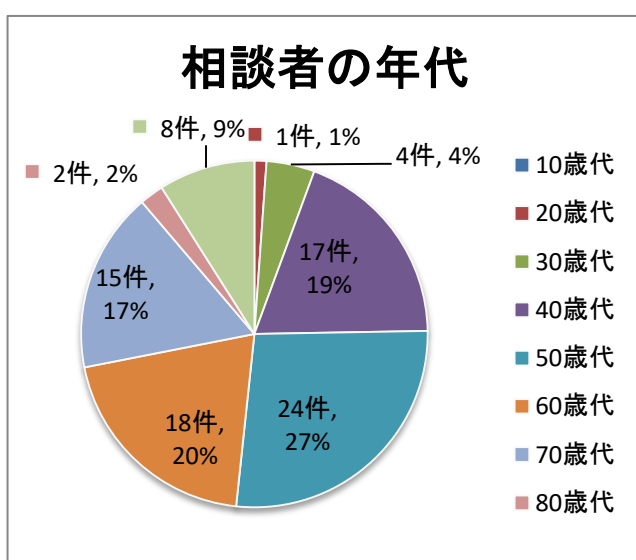
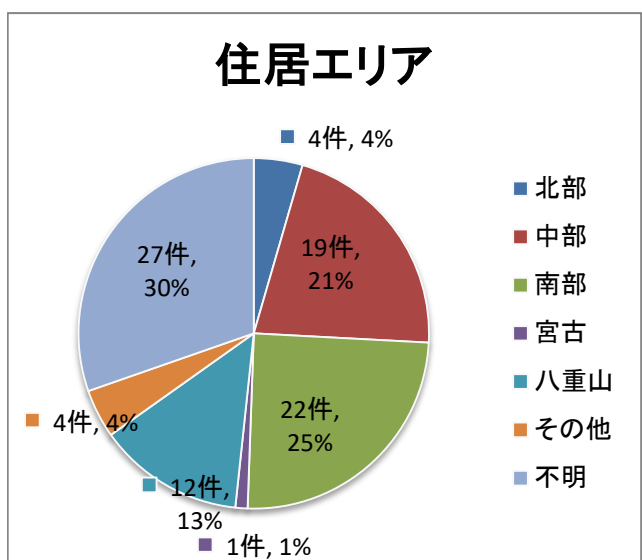
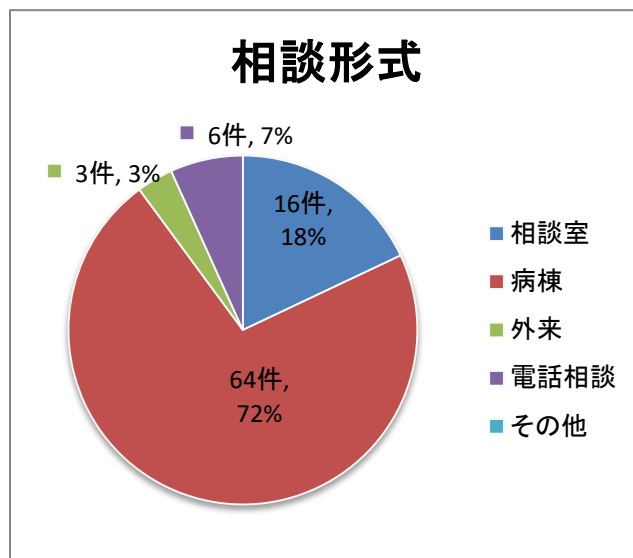
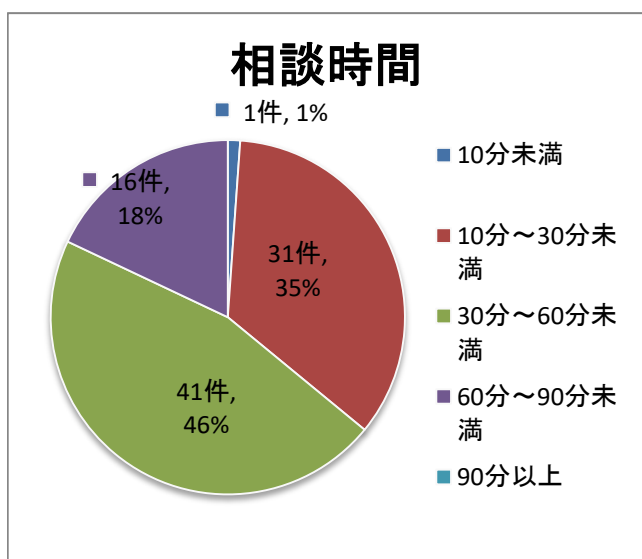
実施期間：平成30年10月1日～平成30年12月31日

がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

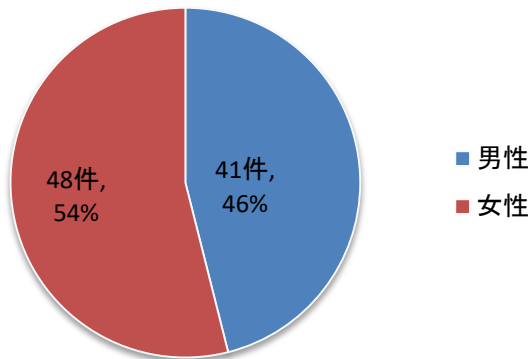
■ 調査対象期間 平成30年10月1日～平成30年12月31日

■ 調査件数 89 件

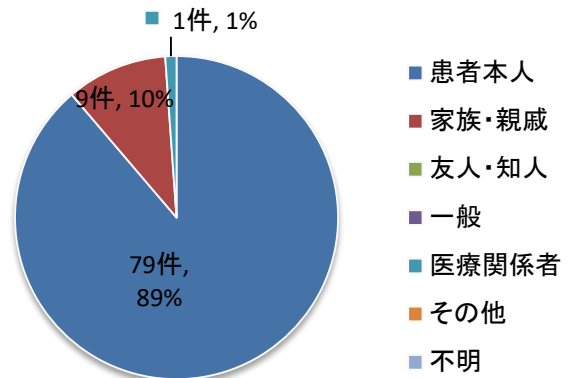
相談月	件数
10月	25
11月	33
12月	31
合計	89



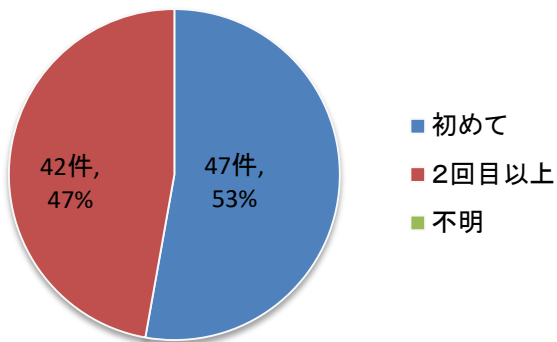
相談者の性別



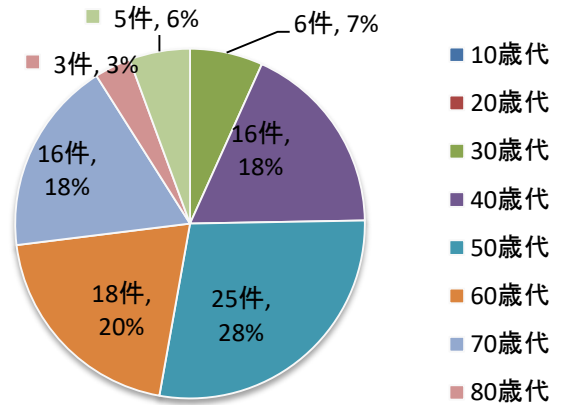
相談者のカテゴリー



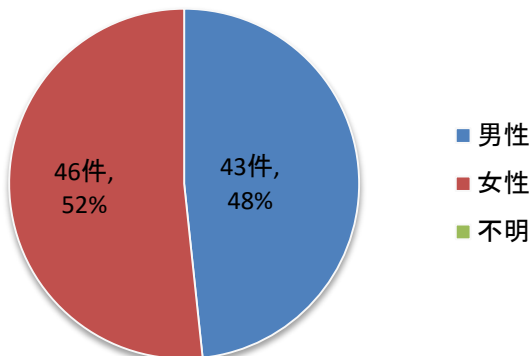
相談者の利用回数



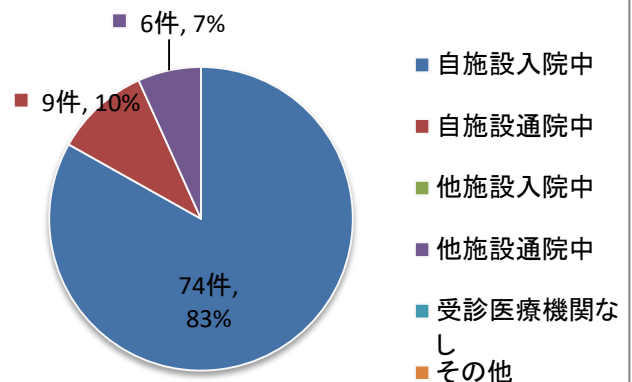
患者本人の年代



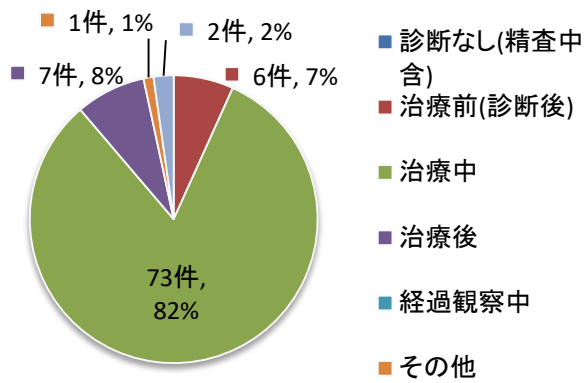
患者本人の性別



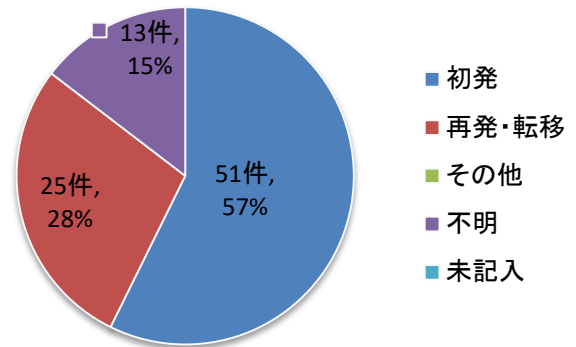
受診状況



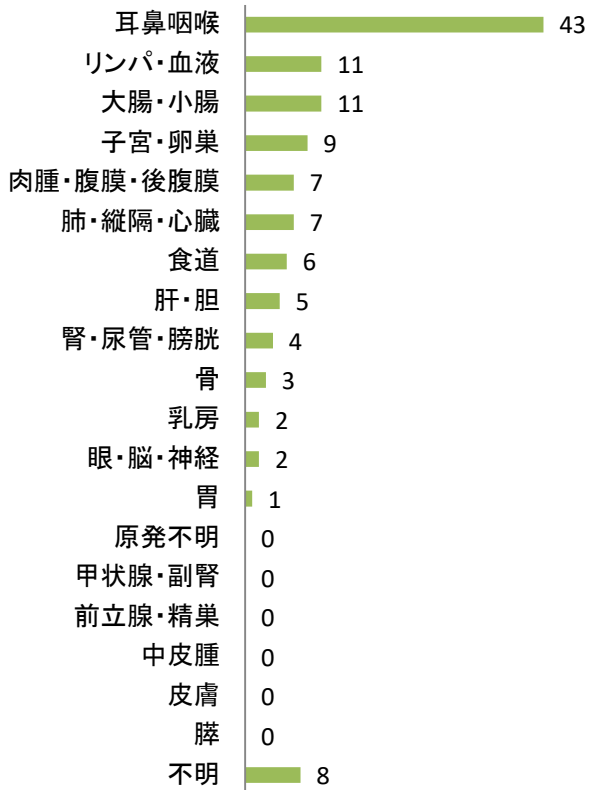
現在の治療状況



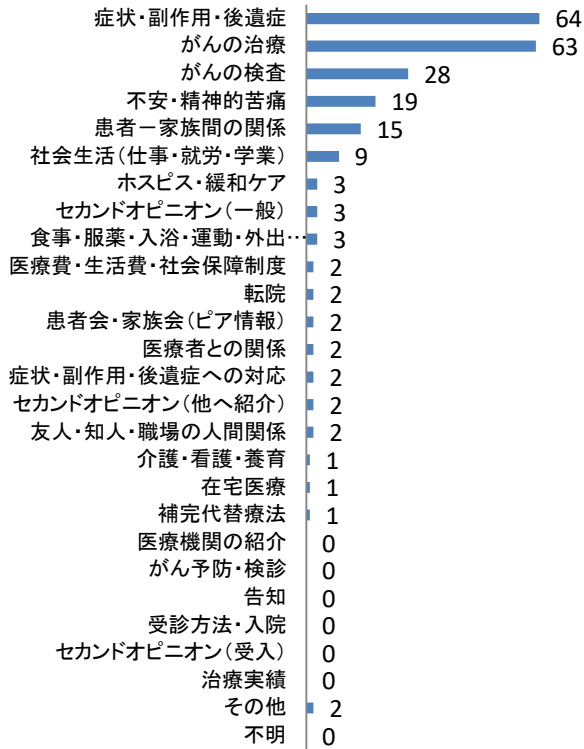
がんの状況



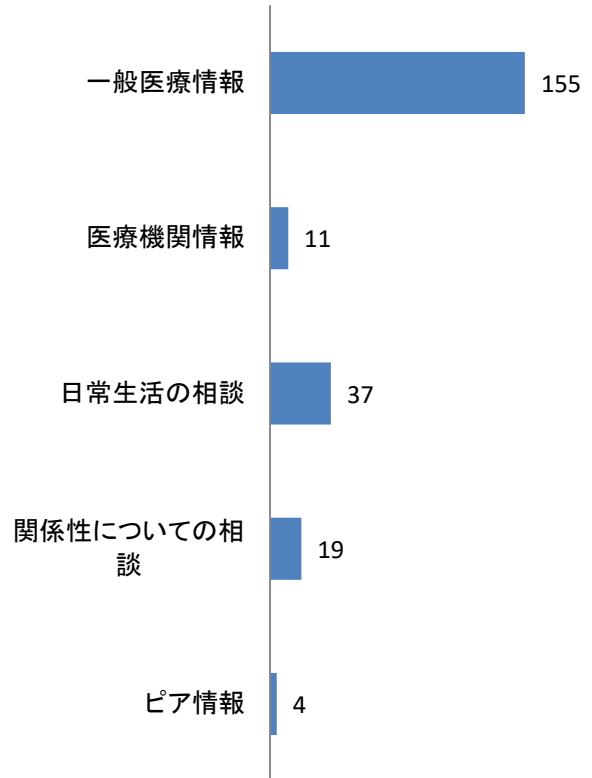
がんの部位



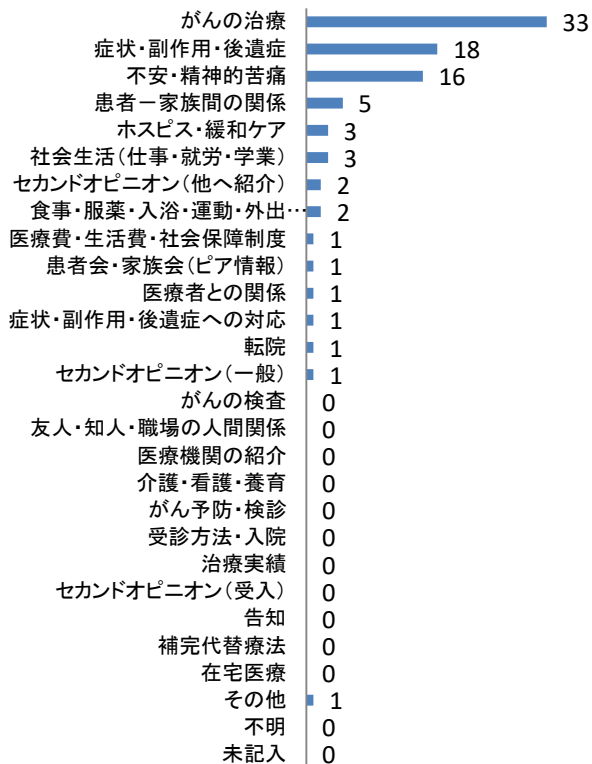
相談内容 (実施したものすべて)



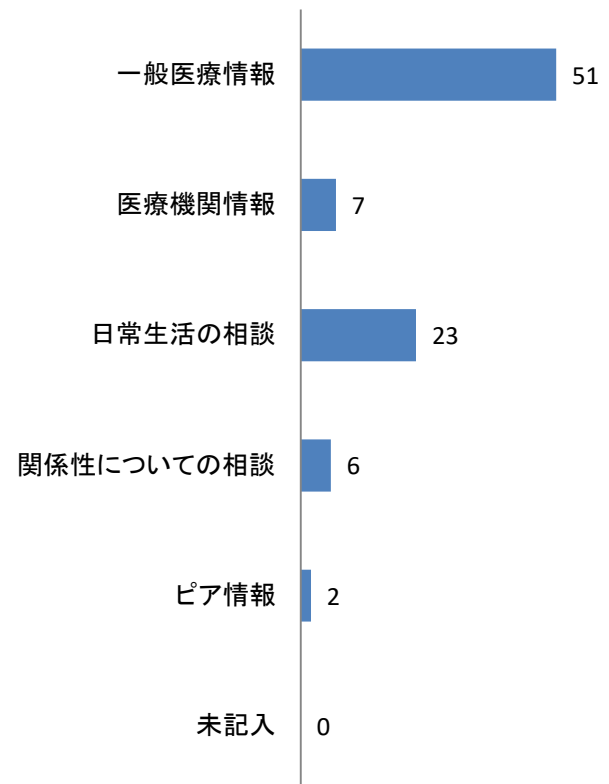
相談内容 (実施したものすべて・大項目別)



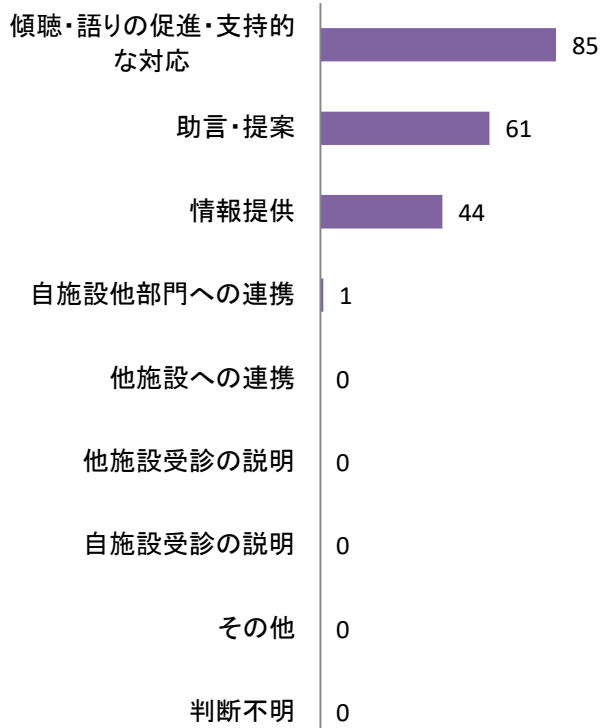
相談内容 (最も比重の高いもの)



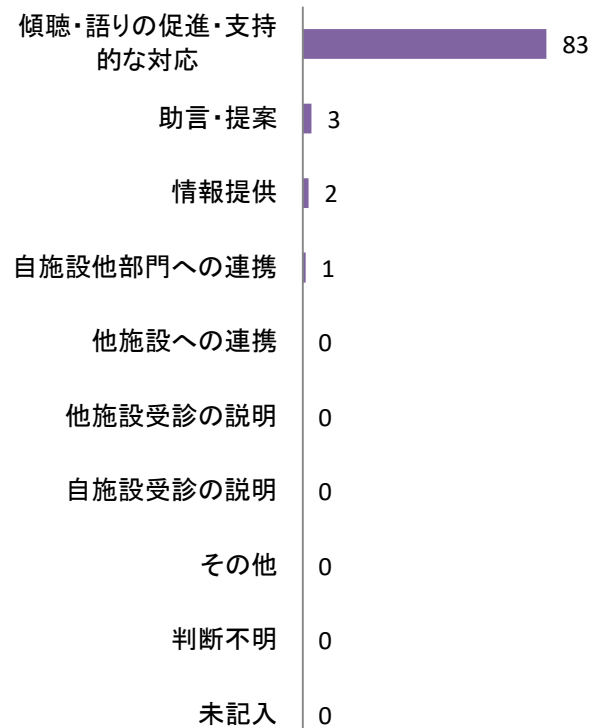
相談内容 (最も比重の高いもの・大項目別)



対応内容 (実施したものすべて)



対応内容 (最も比重の高いもの)



認知経路



がん相談できる島づくり がんピアキャラバン
開催報告

実施日：平成30年10月6日（土）

【がんピアキャラバンとは】

離島やへき地を含む沖縄全域に出向き、地域のがん関係者等との協働によりがん患者支援を行うものである。主たる内容はがんピアサポーターや医療者によるがん相談とし、支援体制の普及啓発活動も同時に行う複合イベントである。

【イベントの名称】

がん相談できる島づくり がんピアキャラバン

【目的】

1. がん患者や家族の不安軽減

専門家による相談会や、当事者同士ががんに対する不安や悩み・気持ちを分かち合い、必要とする情報を交換し合うことで病気に対する不安軽減につなげる。

2. がんピアサポートの周知

他者へのがん相談の機会が少ない地域へ、センターの相談員によるピアサポートを提供することでピアサポートを知る機会を与え、地元のピアサポーターの活用につなげる。

【概要】

1. 日 時 平成 30 年 10 月 6 日（土）
2. 場 所 石垣市立図書館 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1
3. 対 象 地域住民の皆様
4. 主 催 沖縄県地域統括相談支援センター（平成 30 年度 沖縄県委託事業）
琉球大学医学部附属病院がんセンター
5. 協 力 資生堂ライフクオリティビューティーセンター、沖縄県立八重山病院
地域連携室、石垣市役所、石垣市立図書館、やいまゆんたく会、公益社
団法人日本オストミー協会沖縄県支部（八重山地区）
6. 参加費 参加無料・相談無料
7. プログラム

<講演> 13:00～14:30 ***事前申込なし**

講演会テーマ：がん情報と外見ケア（アピアランスケア）の必要性

講演① がん情報のさがし方とアピアランスケア（30分）

沖縄県地域統括相談支援センター長

琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田昌人

講演② 外見ケアセミナー（30分）資生堂ジャパン株式会社 板谷さち 様

・実演なし

・講演会終了後、希望者に実演会（16時まで）。

- 案内① 八重山での相談やサロンの案内（10分）
 沖縄県立八重山病院地域連携室 金城美奈子 様
- 案内② 八重山でのがん検診について（5分）
 石垣市 健康保健センター
 健康増進担当（保健師） 島尻さなえ 様
 難病患者等渡航費助成事業担当（看護師） 荷川取美和子 様
- 案内③ 患者会の活動日程案内（5分）
 やいまゆんたく会 田盛亜紀子 様
- 案内④ 地域統括での相談や相談時間の案内（5分）
 沖縄県地域統括相談支援センター相談員 西村克敏

<相談会> 14:30～16:00 ***当日受付**

全3回（各30分）開始時間 14:30、15:00、15:30 予定

- 相談会① 医師による相談／沖縄県地域統括相談支援センター長
 琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田昌人
- 相談会② がんピアサポート相談／沖縄県地域統括相談支援センター相談員
 西村克敏
 仲田ひろ子

<パネル展> 11:30～15:30

展示物 がんピアサポート展

【講師・登壇者】

名前	所属	担当
板谷さち 様	資生堂ジャパン株式会社 コスメティクスブランド事業本部 九州・沖縄事業部 九州・沖縄 第9	講演②／実演会
金城美奈子 様	沖縄県立八重山病院 地域連携室	案内①
島尻さなえ 様 荷川取美和子 様	石垣市 健康福祉センター	案内②
田盛亜紀子 様	やいまゆんたく会	案内③

【講師・スタッフ】

名 前	所 属	担 当
増田昌人	沖縄県地域統括相談支援センター長 琉球大学医学部附属病院がんセンター長	責任者 講演①／相談会①
西村克敏	沖縄県地域統括相談支援センター	案内④／相談会②
仲田ひろ子	沖縄県地域統括相談支援センター	受付／相談会②
東啓子	琉球大学医学部附属病院がんセンター	受付／相談予約／記録
浦崎美由貴	沖縄県地域統括相談支援センター	担当者 司会／記録／その他全般

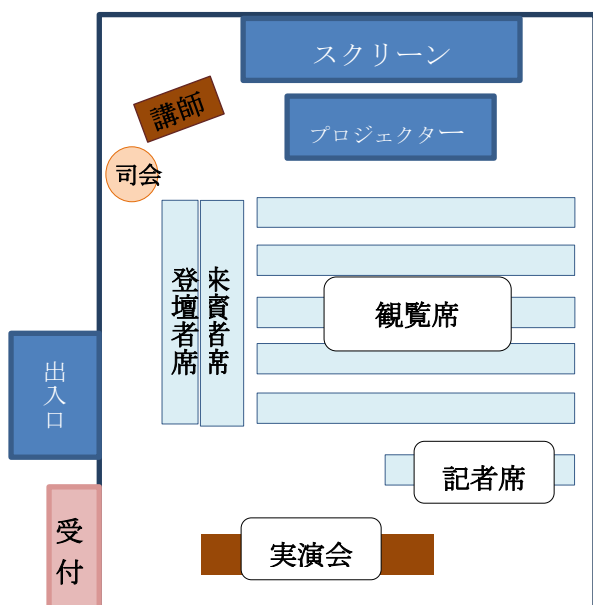
【タイムスケジュール】

開始	終了	時間	内 容	担当者
09：50	10：00	10分	会場集合、手荷物搬入	スタッフ全員
10：00	10：10	10分	スタッフ打ち合わせ	スタッフ全員
10：10	11：30	80分	会場設営	スタッフ全員
11：00	11：30	30分	板谷様ご到着 ・実演会スペースの設営	資生堂ジャパン（株）板谷様 浦崎美由貴
11：30			ピアサポート展スタート	
11：30	12：00	30分	昼食	
12：00	12：30	30分	スタッフ最終打ち合わせ	スタッフ全員
12：30			開場、受付	受付：仲田ひろ子、東啓子
12：30	12：40	10分	板谷様との最終打ち合わせ	資生堂ジャパン（株）板谷様 浦崎美由貴
13：00	13：02	2分	開演 ご案内など	司会：浦崎美由貴
13：02	13：05	3分	主催者あいさつ	増田センター長
13：05	13：45	40分	講演① 「がん情報のさがし方とアピ ランスケアについて」	増田センター長

13:45	14:15	30分	講演② 「外見ケアセミナー」	資生堂ジャパン（株）板谷様
14:15	14:25	10分	案内① 相談室やサロンの案内	県立八重山病院 地域連携室 金城様
14:25	14:30	5分	案内② がん検診について	石垣市 健康福祉センター 島尻様、荷川取様
14:30	14:35	5分	案内③ 患者会	やいまゆんたく会 田盛様
14:35	14:40	5分	案内④ 地域統括の案内	地域統括相談支援センター 西村克敏
14:40	14:42	2分	講演会終了 相談会、外見ケア実演会の案内	
14:45	15:30	45分	外見ケア実演会	資生堂ジャパン（株）板谷様
15:00	15:30	30分	相談会	増田センター長
15:30	16:15	45分	すべて終了 展示室、図書館入口片付け 視聴覚室、和・洋会議室片付け	スタッフ全員
16:20			退館	

【会場】

●講演会、実演会（2F 視聴覚室）



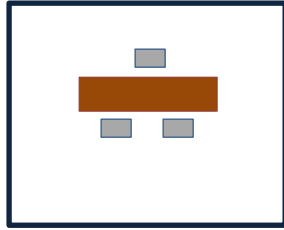
<講演>

会場前方に向かって
 登壇者席：8席
 来賓者席：8席
 観覧席：48～50席

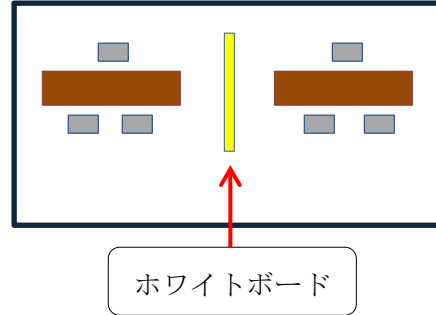
<実演会>

講演会終了後、資生堂／板谷様による
 実演会（希望者のみ）。
 登壇者席用イス8脚を移動。

●相談会①（2F 和会議室）



●相談会②（2F 洋会議室）



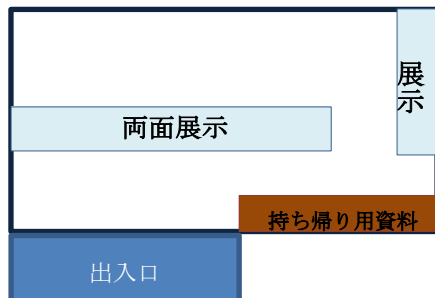
<相談会>

①：医師による相談

②：がんピアサポート相談（2席）

各相談エリアにテーブル1台、イス3～4脚を配置する。

●ピアサポート展（1F 展示室）



<パネル展>

パーテーションの両面使用。

出入口付近にテーブル1台、持ち帰り用資料を並べる。

【参加人数】

講演会：26名（内登壇者5名）

相談会：医師による相談1件、ピアサポート相談0件

【振り返り】

- ・当初は、前日に石垣入り予定だったが、台風の影響で当日入りを余儀なくされ、会場の下見等が行えず、準備に手間取ることが予想されたが、地元患者会の皆さんに手伝っていただき、設置等スムーズに行えた。
- ・講演会は、がんに関する情報の収集方法、医療の場で外見（アピアランス）を支援することの目的や実際のケア方法を学ぶ構成になっており、また八重山でのがん相談や検診についての案内など盛りだくさんで、参加者からは好評を得た。台風の影響があったとはいえ、参加者がもっといてもいいのではとの声が多かった。
- ・資生堂による実演会は、実際に手に取って試せることや、講演で学んだことをすぐに実践できる、また講師の板谷氏が個別指導を行ってくれたりと好評であった。
- ・相談会は、医師・相談員と各30分それぞれ計3回を予定していたが、医師の1回だけであった。講演を聴いて帰られた方がほとんどで、ピアサポートについての認知度の低さを感じた。
- ・パネル展は、展示室が予想以上に広がったこと、パーテーションが想定外の規格ではあったものの、問題なく行えた。残った冊子資料については、会場が図書館ということもあり、書棚に並べていただくことになった。

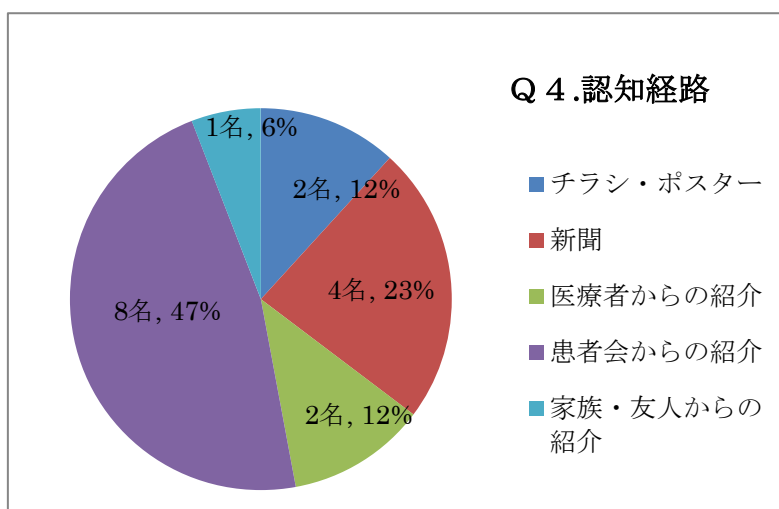
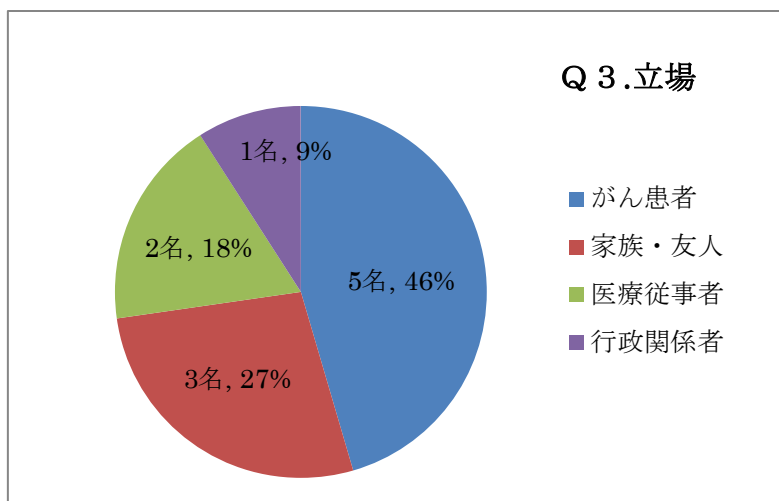
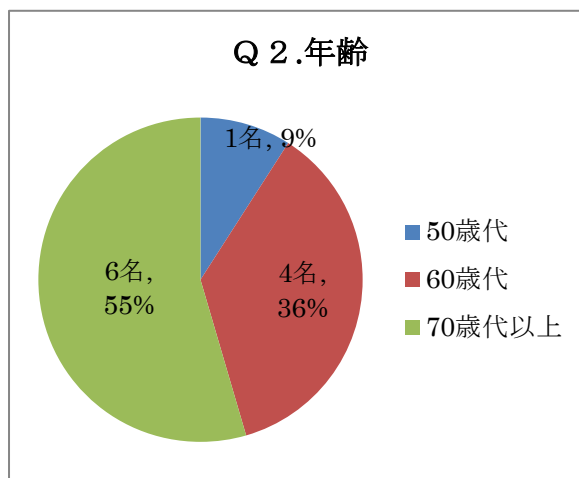
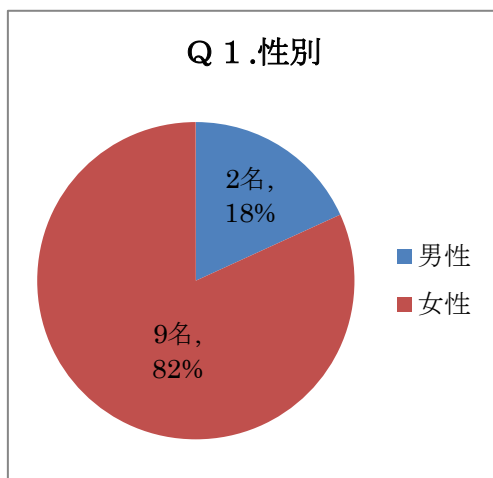
【反省点】

- ・HPはもちろん地元官公庁ならびに医療機関への周知、イベント2日前には地元新聞紙に掲載するなどしたにも関わらず、参加者があまり伸びなかった。キャラバンは相談会が主であるが、考えられる要因としては、台風の影響があったこと、アピアランスケアということで対象が限定される印象を与えたことなどが挙げられる。また、ピアサポート活動についての認知・周知不足を感じたので、地元拠点病院や患者会との連携をしっかりとし、どう広げていくかを考えていく必要がある。

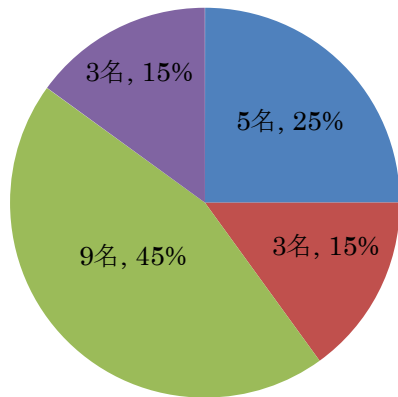
【今後の課題】

- ・台風シーズンを避けたつもりだったが、開催時期を再検討するべき。
- ・離島では、アピアランスケアに関する講演等があまり開催されていないことから、昨年に引き続き企画したが、まだまだ浸透しておらず、がんに関しての参加者・相談者が来やすいように、テーマを再検討することと、相談会のみ役所等で平日開催することも検討してみてもどうか。

【アンケート集計結果】回答者 11 名

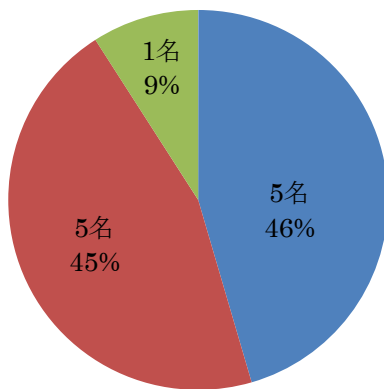


Q 5.参加のきっかけ



- アピ°アランスケアに関心があった
- がん体験者の話を聞いたかった
- 情報が知りたかった
- 外見の変化による不安や心配ごとを知りたかった

Q 6.アピ°アランスケアについて理解できたか

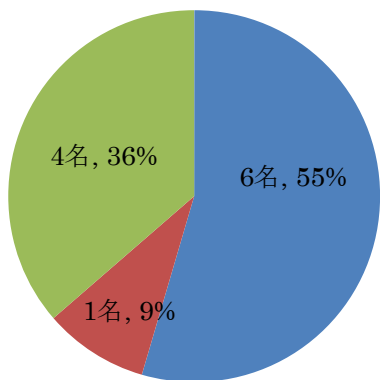


- よく理解できた
- 少し理解できた
- どちらともいえない

Q 6 の理由

- ・ 簡潔で分かりやすかった。
- ・ あまり関心がない。

Q 7.体験者の話は役に立つか

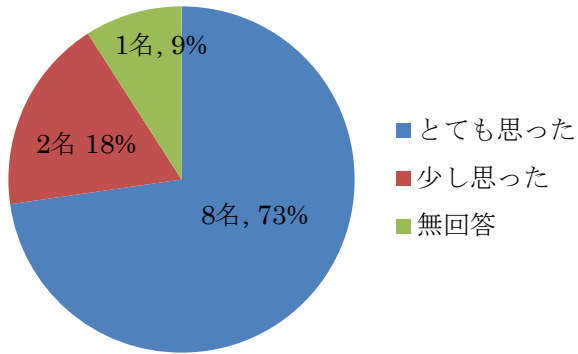


- とても役に立つ
- 少し役に立つ
- 無回答

Q 7 の理由

- ・ 気持ちが分かるので、心に響く。
- ・ 少しでも何か手助けしたいという気持ちになる。
- ・ 自分を励ましてくれ、また元気にしてくれる。
- ・ 家族、友人に教えてあげたい。

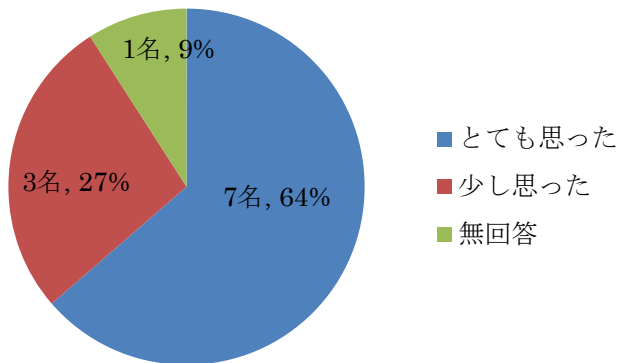
Q 8.講演会で聞いたケア方法を
実際に試したいと思うか



Q 8 の理由

- ・今までの方法が間違っていたと知ったので、実践したいと思った。

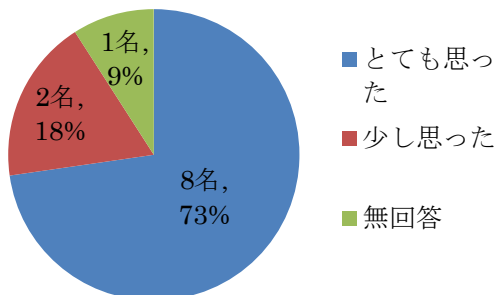
Q 9.患者会の案内を聞いて他のがん
患者と話してみたいと思ったか



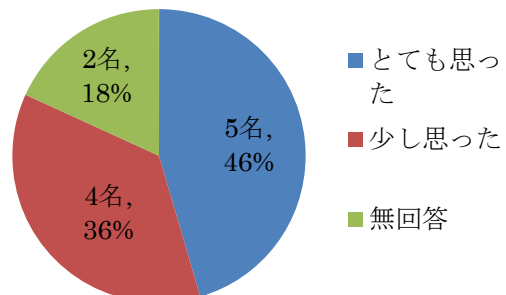
Q 9 の理由

- ・学んだことを教えてあげたい。
- ・高齢でがんのリスクが高まっていることから、他にも話を聞いてみたいと思った。

Q 10.八重山病院地域連携
室の案内を聞いて、
利用したいと思ったか



Q 11.地域統括相談支援セン
ターの相談員と話したいと思っ
たか



Q12 講演会についてのご意見・ご感想

- ・メイクケアのお話は初めて聞きましたが、とても良かったです。
- ・眉の書き方とても勉強になりました。次は、頭髮ケアについてもお話聞きたいです。
- ・とても良い講演でしたが、体験者のお話をもっと入れてほしい。
- ・乳がんについて、分かりやすい講演内容でした。ハンドブックをもっと活用したいです。
- ・自分の思っていることと違うことも分かり、とても勉強になりました。
- ・貴重なので、離島でも年に数回このようなイベントがあれば良いと思います。
- ・とても参考になりました。今後も開催してほしいです。
- ・多くの市民の方が参加されるようよう、もっとアピールした方が良いと思います。
- ・地域をあげて、相談・支援活動をされていることは素晴らしいことで感動しました。がん患者は2人に1人と言われる時代、もっと意識を持って参加するべきだと思いました。

【当日の様子】



▲講演①「がん情報のさがし方とアピランスケア」



▲講演②「外見ケアセミナー」



▲案内①「沖縄県立八重山病院地域連携室」



▲案内②「石垣市健康福祉センター」



▲案内③患者会「やいまゆんたく会」



▲案内④「沖縄県地域統括相談支援センター」



▲実演会





▲がんピアサポート展



▲患者会「やいまゆんたく会」活動報告

【案内チラシ】

平成30年度 沖縄県委託事業

がん相談できる島づくり
がんピアキャラバン

講演会
視聴覚室
13:00~14:30
テーマ **がん情報と
外見ケア(アピアランス)の必要性**
がんに対する情報とがん患者さんへ
気になる外見のお悩みについてなど
講演終了後、実演会もあります!

参加無料
10月6日(土)
石垣市立図書館

相談会
和・洋会議室
14:30~16:00
●医師による相談
●ピアサポート相談
ピアサポートとは、同じ体験を
した仲間が行う活動のことです。

パネル展
展示室
11:30~15:30
センターの活動内容などを
分かりやすく解説します。
お持ち帰りいただける冊子も
あります。

お気軽に
ご参加ください。

詳しくはウラを
ごらんください →

主催 沖縄県地域統括相談支援センター
琉球大学医学部附属病院がんセンター
協力 眞生堂ライフケアイシューティーセンター
沖縄県立八重山病院地域連携室
石垣市役所、石垣市立図書館
やいまゆんたく会、公益社団法人日本オストミー
協会沖縄県支部 (八重山地区)

▲チラシ表面

がん相談できる島づくり
がんピアキャラバン 10月6日(土)
石垣市立図書館

講演会 13:00 ~ 14:30 (2F視聴覚室)

**がん情報と外見ケア
(アピアランスケア)の必要性** **参加無料
申込不要**

13:00 講演①「がん情報のさがし方とアピアランスケア」
琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人

13:30 講演②「外見ケアセミナー」
眞生堂ジャパン株式会社 板谷 さち 氏
コスメティクスブランド事業本部 九州・沖縄事業部 コスメティクス担任

肌の黒ずみやくすみ… まゆ毛やまつ毛の脱毛… **外見の変化をメイクやウィッグで装いましょう!**

14:00 各機関からのご案内

相談会 14:30 ~ 16:00 (2F和・洋会議室) **相談無料
当日受付**

①医師による相談 (和会議室) 1室
②がんピアサポート相談 (洋会議室) 2室

第1回 14:30~15:00
第2回 15:00~15:30
第3回 15:30~16:00

相談は30分です。各3回9組様をお受けいたします。

【お問合せ】
沖縄県地域統括相談支援センター (琉球大学医学部附属病院内)
☎ 098-942-3407 <http://www.gansoudan-okinawa.jp>

▲チラシ裏面

・平成30年10月4日（木）付 八重山毎日新聞「誘い」無料掲載

2018年(平成30年) 10月4日(木曜日)

誘いの
誘い

「誘い」の面
が「誘い」の面
が「誘い」の面

秋雑感

玉城 光枝

「秋雑感」の面
が「誘い」の面
が「誘い」の面

「誘い」の面
が「誘い」の面
が「誘い」の面

がん相談できる鳥づくり がんにピアキャラバン

中重 美由貴

「がん相談できる鳥づくり
がんにピアキャラバン」の面
が「誘い」の面
が「誘い」の面

・平成30年10月7日（日）付 八重山毎日新聞「地域欄」掲載

2018年(平成30年) 10月7日(日曜日)

八重山毎日新聞

初の名産軽トラ市盛況

早々と完売状態に



島ネギとバナナが一番人気

新城課長が県知事賞

参加者が悩みを相談
石垣でがんピアキャラバン



八重山代表3人優良賞
中学英語討論選手権大会

がんピアサポーターフォローアップ研修会
(講演会 / 研修会 / 交流会)
開催報告

実施日：平成 30 年 12 月 2 日 (日)

【イベントの名称】

平成 30 年度 がんピアサポーターフォローアップ研修会

【目的】

<講演会・研修会>

ピアサポート活動をする上での様々な対応力をつける、また自信を持って活動ができるよう資質向上を図るため。

<交流会>

ピアサポーター間の親交を深め、活動意欲の維持を図る。

また1年間の活動を振り返り、良かった点を皆で共有し反省点はお互いにアドバイスし合うなど、次年度に向けての意見交換を行う。

【概要】

1. 日 時 平成 30 年 12 月 2 日 (日)
2. 場 所 琉球大学医学部附属病院 大学院セミナー室
3. 対 象 <講演会>医療関係者およびピアサポートに携わるすべての方
<研修会>ピアサポート養成基礎講座修了者
またはすでにピアサポート活動を行っている方
<交流会>当センターピアサポーター
4. 主 催 沖縄県地域統括相談支援センター (平成 30 年度 委託事業)
5. 参加費 無料
6. プログラム

<講演会>10:00~12:00 ***事前申込なし**

講演会テーマ：がんに関わる心の医療と先進地に学ぶピアサポート

講演① 千葉県がんピアサポート事業について (50分)

NPO 支えあう会「α」副理事長 野田真由美 様

講演② がん医療の心のケアとピアサポート (50分)

国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科長

先端医療開発センター精神腫瘍学 開発分野長 小川朝生 先生

<研修会>13:00~16:00

ロールプレイによる実践的トレーニング

「より良いサポートのために」

<交流会>16:00~17:00

【講師・登壇者・スタッフ】

名 前	所 属	担 当
野田真由美 様	NPO 法人支えあう会「α」副理事長	講演①/ 研修会総合アドバイザー
小川朝生 先生	国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科長 先端医療開発センター精神腫瘍学 開発分野長	講演②/研修会アドバイザー
島袋幸代 様	沖縄県立中部病院 がん相談支援センター 副看護師長	研修会アドバイザー
樋口美智子 様	那覇市立病院 医療支援部 総合相談センター長	研修会アドバイザー
大久保礼子	琉球大学医学部附属病院がんセンター 医療ソーシャルワーカー	研修会アドバイザー
増田昌人	沖縄県地域統括相談支援センター長	責任者
中山富美	沖縄県地域統括相談支援センター相談員	講演会司会
橋本佳奈	沖縄県地域統括相談支援センター相談員	講演①講師紹介
仲田ひろ子	沖縄県地域統括相談支援センター相談員	講演②講師紹介
西村克敏	沖縄県地域統括相談支援センター相談員	交流会司会
浦崎美由貴	沖縄県地域統括相談支援センター事務員	担当者/研修会司会 記録/その他全般

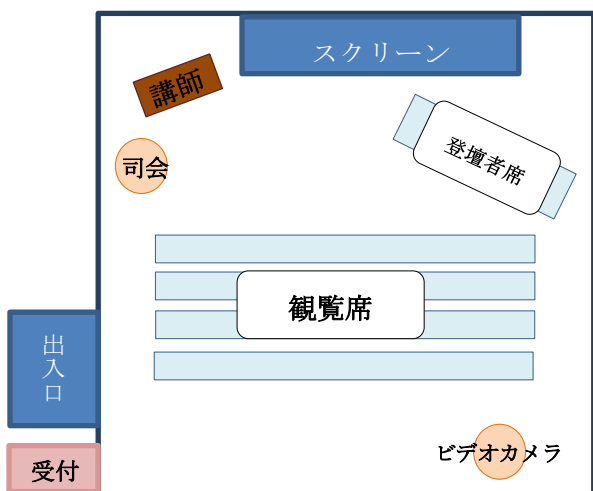
【タイムスケジュール】

開始	終了	時間	内 容	講師、担当者等
9:00	9:30	30分	会場準備 野田様ご到着	スタッフ全員
9:30	10:00	30分	開場、受付	
10:00	10:02	2分	開演、ご案内など 小川先生ご到着	司会：中山富美

10 : 02	10:07	5分	講演会 開会のあいさつ	増田センター長
10 : 07	10 : 10	3分	講演①講師紹介	橋本佳奈
10 : 10	11 : 00	50分	講演① 千葉県がんピアサポート 事業について (質疑応答含む)	NPO 法人支えあう会「α」野田真由美 様
11 : 00	11 : 03	3分	講演②講師紹介	仲田ひろ子
11 : 03	11 : 53	50分	講演② がん医療の心のケアと ピアサポート (質疑応答含む)	国立がん研究センター東病院 小川朝生 先生
11 : 53	11 : 58	5分	閉会のあいさつ	増田センター長
11 : 58	13 : 05	67分	研修会会場準備、昼食	スタッフ全員
12 : 45	13 : 05	20分	研修会打ち合わせ	NPO 法人支えあう会「α」野田真由美 様 国立がん研究センター東病院 小川朝生 先生 沖縄県立中部病院 島袋幸代 様 那覇市立病院 樋口美智子 様 琉大病院がんセンター 大久保礼子 増田センター長 浦崎美由貴
13 : 05	13 : 10	5分	研修会 開会のあいさつ	司会：浦崎美由貴 増田センター長
13 : 10	13 : 30	20分	ロールプレイ	進行：総合アドバイザー NPO 法人支えあう会「α」野田真由美 様
13 : 30	13 : 50	20分	第1セッション	
13 : 50	14 : 10	20分	第2セッション	
14 : 10	14 : 30	20分	第3セッション	
14 : 30	14 : 40	10分	休憩	
14 : 40	15 : 00	20分	第4セッション	

15 : 00	15 : 40	40分	全体での振り返り 各シナリオの解説 各アドバイザーの講評	
15 : 40	15 : 45	5分	アンケートの記入	
15 : 45	15 : 55	15分	受講修了書の授与 閉会のあいさつ	増田センター長
15 : 55	16 : 00	5分	写真撮影	
16 : 00	16 : 15	15分	交流会 事業報告	司会：西村克敏 浦崎美由貴
16 : 15	16 : 55	40分	意見交換、質疑応答	
16 : 55			閉会	

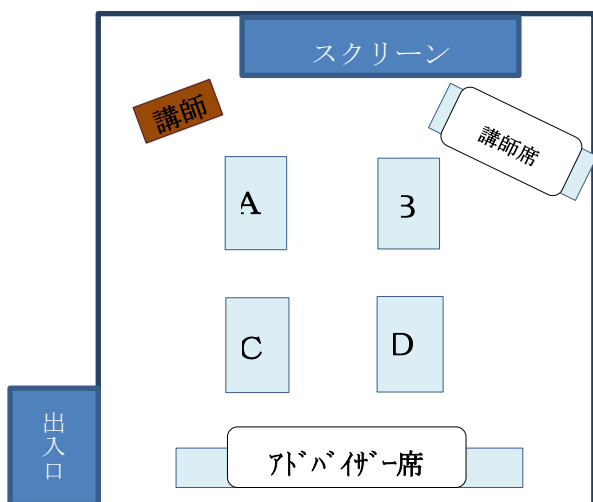
【会場】



<講演会>

観覧席：30～35席

後方にビデオカメラ設置。

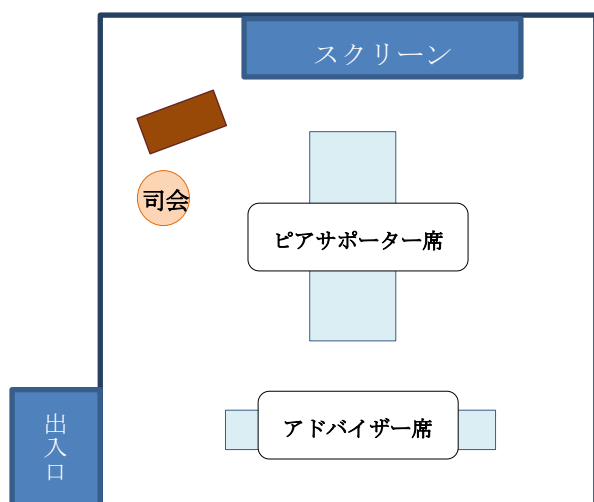


<研修会>

ピアサポーター2名

相談員、アドバイザー各1名ずつ

4つのグループに分かれての研修。



<交流会>

平成 30 年に開催した事業を
スライドで報告後
皆でテーブルを囲んでの意見交換。

【参加者数】

講演会：25 名（内登壇者 2 名）

研修会：19 名

交流会：14 名

【振り返り】

・講演会は、ピアサポートの先進地である千葉県から講師の方をお呼びしたこともあり、参加者は熱心に聞き入り、メモを取る姿も多く見受けられた。とても分かりやすく丁寧に講話していただいたので、お話を聞いて胸にスッと落ちた、つかえていたものが取れた感じがしたなどの感想が多かった。

・研修会は、アドバイザーの方達の配慮等あり、和やかに進んだ。よくある相談内容を取り上げ 4 回に分けてセッションしたが、意見するだけでなく思い出して涙する場面もあり、真剣に取り組んでいる姿が印象的だった。3 年ぶりの開催、また長時間ということで体調面も心配されたが何事もなく、ピアサポーターとしての仲間意識、お互いの想いを共有、再確認できたことが良かったし、必要性を感じた。

・交流会は、通常なかなか一堂に会することができないことから、お互いの近況だけでなく、以前対応した相談者のその後について話し合ったり、離島でもがんピアサロン（ヨガ体験）を開催してほしいなど来年度事業についての意見も出た。

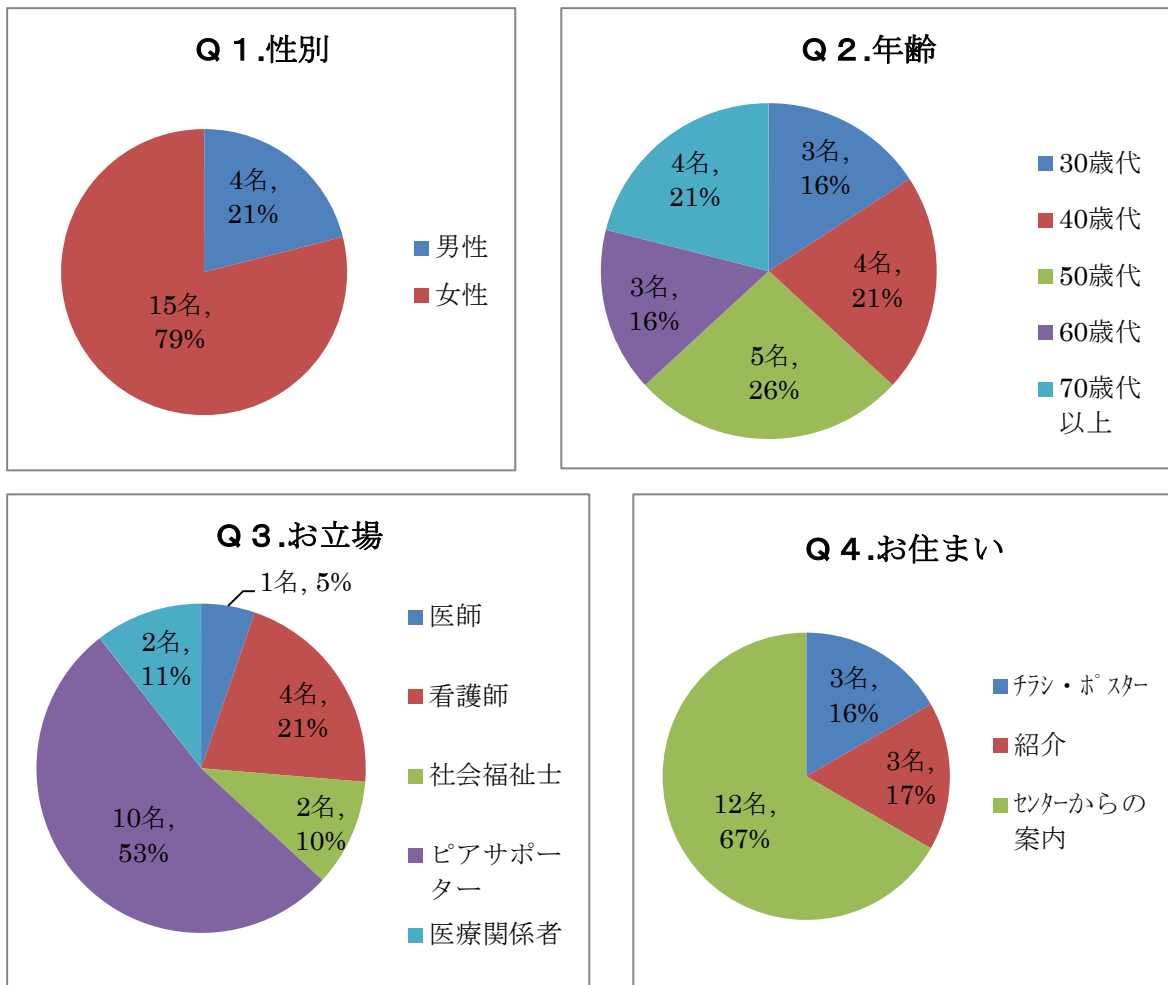
【反省点】

- ・講演会について、HPはもちろん医療機関や院内（各部署）へチラシやポスターで周知、2日前には新聞掲載もしたが、思ったほど参加者が伸びなかった。天候には恵まれたが、「那覇マラソン」と同日開催だったので、多少影響があったかと思われる。
- ・詳細部分の打ち合わせが足りなかったので、事前準備等をもっと万全にしていれば、さらにスムーズに進行できたことが悔やまれる。

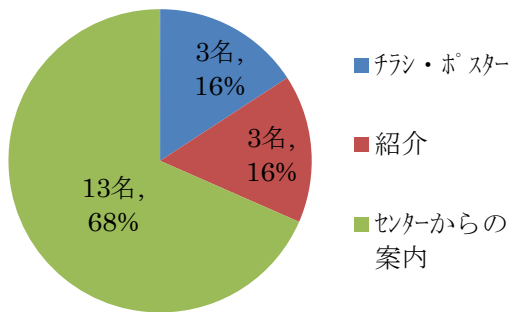
【今後の課題】

- ・急遽、開催したイベントとはいえ、年末でもあり開催時期や場所を再検討するべき。
- ・医療機関や患者会との連携だけでなく、主催する病院の協力を大前提として広げていく必要がある。

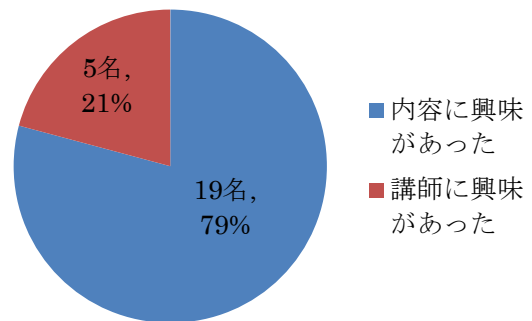
【講演会：アンケート集計結果】 回答者：19名



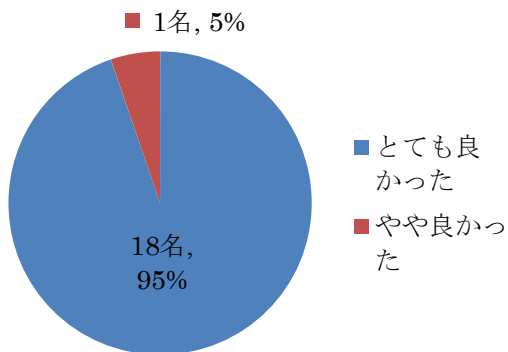
Q 5.認知経路



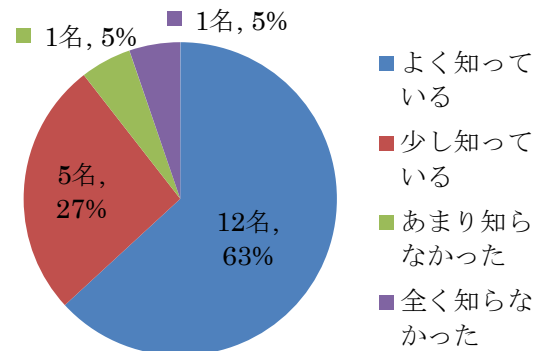
Q 6.参加のきっかけ（複数回答）



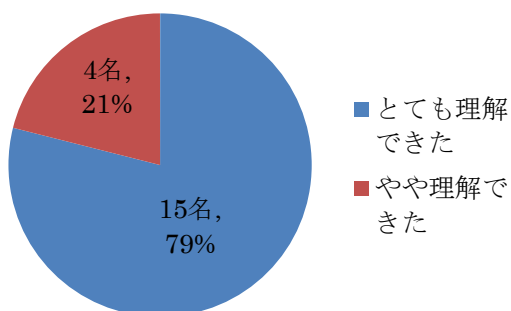
Q 7.講演の内容



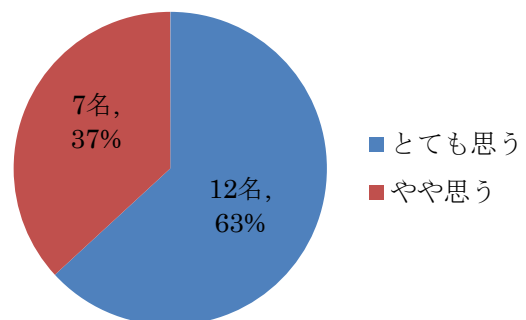
Q 8.ピアサポート活動を知っていたか



Q 9.ピアサポート活動について理解できたか



Q10.ピアサポートを活用したいか



Q11. (「Q10. ピアサポートを活用したいか」を受けて) なぜそう思うか

- ・メンタル面でのサポートができる。
- ・がん患者の悩みを共有できる。
- ・治療経過中でも不安の軽減につながると思うから。
- ・当事者になったとき、頼りになると思うから。
- ・気持ちが少しでも軽くなり、前向きに生きていけると思うから。
- ・自分と同じ悩みを抱えている人と話し、解消できるのではと思ったから。
- ・同じ病気を体験した人だと勇気づけられるのではと思った。
- ・同じ病気を体験した者同士だからこそ分かることがあると思うし、家族や知人以外の方だからこそ話せることもあると思うから。
- ・ピアサポーターならではの体験の語りは、患者さんにとって有効だと思うから。

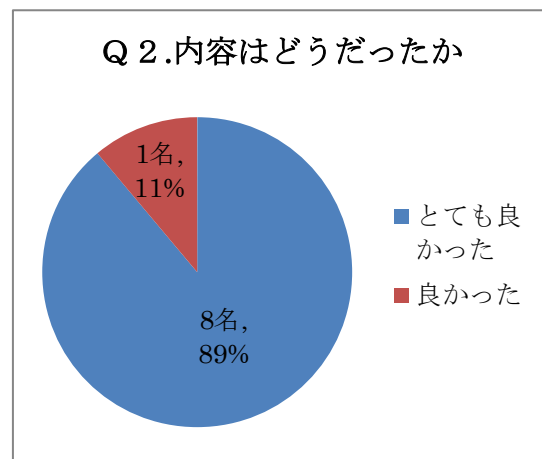
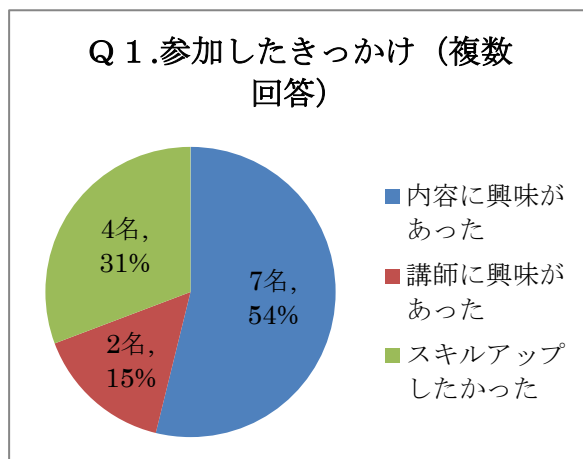
Q12. どのような場面でピアサポーターを活用したいか

- ・自分や周りの人が病気のこと悩んでいるとき。
- ・誰かと話したくなったとき。
- ・院内で他の人の話を聞きたいという患者さんがいたら紹介したい。
- ・患者さんが孤独感を抱えていそうとき。
- ・化学療法中の患者さん。
- ・退院後ひきこもっている人を前に進めたい、笑顔を取りもどしてあげたいとき。
- ・知りたい情報があるとき、ネットだけでなく実際にお会いして話を聞いたり、背中を押してもらいたいとき。
- ・患者会や患者サロン。
- ・センター事業との協働による院内サロンでの活用。

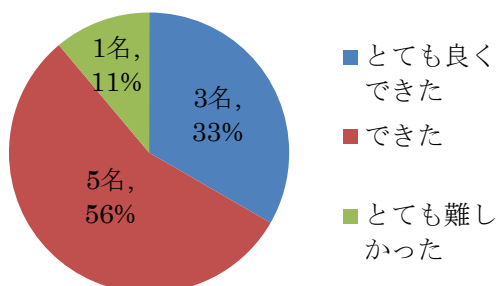
Q13. ご意見・ご感想

- ・職場で自分のがんのことを伝え、センターのことも話したい。
- ・その土地柄にあったサポートもあるのではと思った。
- ・県内の拠点病院以外でも活用できる場があるといい。
- ・病院だけでなく、地域の公民館とかでもできるといい。
- ・メールでも相談ができるようにしてほしい。
- ・利用したいが、どこでどんな方が活動しているか分からないので、もっと広く周知してほしい。
- ・ピアサポートの必要性について学ぶことができて良かった。
- ・ピアサポーターの活動の場を増やしていけるといい。
- ・最後まで興味深く聞くことができた。
- ・悩んでいる方の心の負担を軽減できるなら、力になりたいと思った。
- ・自分にとっても役立つ内容だった。
- ・沖縄県全体のピアサポートの情報を整理し、発信することが必要だと改めて思った。

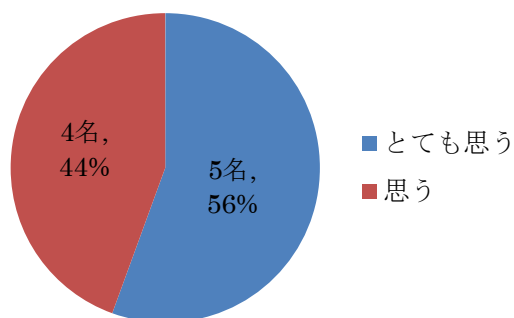
【研修会：アンケート集計結果】回答者：9名



Q 3. 模擬相談（ロールプレイ）はどうだったか



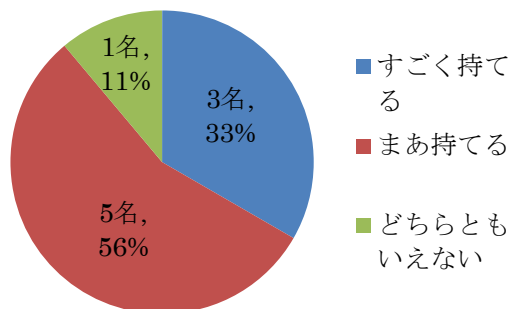
Q 4. スキルアップになったか



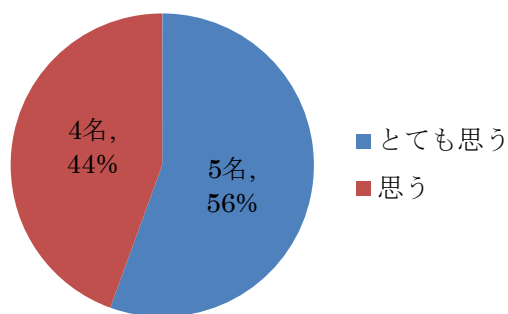
Q 5. （「Q 4. スキルアップになったか」を受けて）なぜそう思うか

- ・内容が深く大変勉強になった。焦らず共感を持ってピアと共にサポーターを見つめ直すことができた。
- ・ロールプレイでは緊張感を持って対応でき、身についたと思う。
- ・ロールプレイを通して、患者・ピアサポーター・観察者それぞれの気持ち、また自分の傾向も改めて分かったので次に活かせると思う。
- ・患者側の気持ちで対応しがちだが、患者と家族の「間」、お話を聞くときの「間」が大切だと気付かされた。
- ・他の方の対応等を見ることができ、アドバイザーから色々な視点でアドバイスをもらった。
- ・他の方の意見も聞いて自分にプラスになり、とても良かったから。
- ・色々な考え方がることが分かり参考になった。

Q 6. ピアサポート活動に自信が持てるか



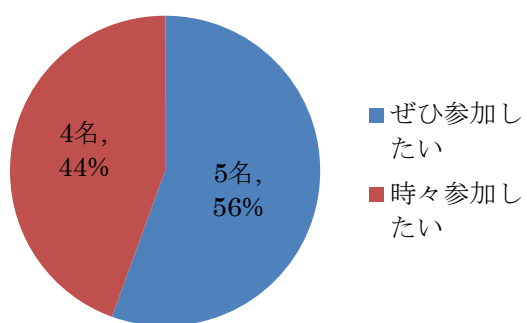
Q 7. ピアサポーターとして活動したいか



Q 8. (「Q 6. 自信が持てるか」を受けて) なぜそう思うか

- ・自分の対応の仕方が分かったから。
- ・やさしい心で受け止めることが出来るような気持ちになったから。
- ・「不安は必ずしも悪くない」ということを、自分なりに理解できたから。
- ・自分の中の気づきが自信につながったから。
- ・次につながる知識や技術が身についたと思うし、他の人の意見を聞くことで学びや気付くことができたから。
- ・アドバイザーの方に褒めていただき、肯定的なアドバイスももらえたから。
- ・相談の際、自分の病気との違い、重たいな内容のときは答えるのが大変ではないか。

Q 9. センターが主催する「がんサロン」に参加したいか



Q10. ご意見・ご感想

- ・自分の体験が誰かの役に立てばいいと改めて思った。
- ・やりがいがあり、誰かの役に立つことなので楽しみながらできると思う。
- ・自分にできるか不安もあるが、誰かの役に立つと考えたら嬉しいので頑張りたい。
- ・ピアサポーターとしてのスキルを上げていながら、いろいろな人たちの役に立ちたいと思った。
- ・もっとピアサポーターとして活動したいと思った。
- ・ピアサポーターが自分の体験をどう語るのか、どう伝わったのかというフィードバックをもらいながらしっかり時間をかけてトレーニングした方がいいと思う。
- ・共に学び、成長していきたいと思った。
- ・これからピアサポートがどんどん必要となっていく上での研修会だったので、このような機会をまたつくってほしい。

【当日の様子】



▲講演①千葉県がんピアサポート事業について



▲講演②がん医療の心のケアとピアサポート



▲研修Aグループ



▲研修Bグループ



▲研修Cグループ



▲研修Dグループ



▲研修会終了後の集合写真



▲交流会



【案内チラシ】

**がんに関わる
心の医療と
先進地に学ぶ
ピアサポート**

がんサバイバーが
経験者の立場から
がん患者さんを
支援する取り組みが
全国で広がっています

一緒に考えてみませんか
効果的なピアサポートの
活用法

平成30年**12月2日**(日)
9:30 開場 10:00 開演

参加費無料・申込不要
対象：医療関係者および
ピアサポートに携わる
すべての方対象
場所：琉球大学医学部附属
病院大学院セミナー室

※当日は2階中央玄関
夜間出入口からとなります
(案内表示あり)

小川朝生 先生
東病院精神腫瘍科
長
角野真由美先生
NPO法人
支えあひ会
副理事長

野田真由美 氏
NPO法人
支えあひ会
副理事長

主催：沖縄県地域連携相談支援センター

▲講演会_チラシ表面

講師紹介

おがわ 朝生 先生
 1999年 大阪大学医学部卒業 医師
 2004年 大阪大学大学院医学部研究科 修了
 2007年 国立病院機構大阪医療センター 神経科 医員
 国立がんセンター東病院 神経腫瘍科 医員
 2009年 国立がんセンター東病院 腫瘍科センター
 神経腫瘍学部長 心臓社会科部長
 2012年 国立がんセンター東病院 腫瘍科センター
 神経腫瘍学部長 分科長 エリート長
 東病院 神経腫瘍科長(兼任)
 2018年 国立がんセンター東病院 腫瘍科センター
 神経腫瘍学部長 分科長 東病院 神経腫瘍科長(兼任)
 国立がんセンター東病院 神経腫瘍科長
 先端医療研究センター 神経腫瘍学部長(兼任)

のだ まゆみ 氏
 NPO法人支えあひ会「707」 副理事長
 千葉県がんピアサポート事業に立ち上がりから関わり、ピアサポーターの養成から活動の場の創設、活動支援を行って来た。
 平成23-24年度 厚生労働省委託事業「がん総合相談に携わる者への研修プログラム策定」
 作業部会委員・評議員
 平成30年度 厚生労働省委託事業「日本エイコロンコロニー学会ピア養成研修ワーキンググループ」
 委員として、ピア研修プログラム3訂作業に当たっている。

プログラム

開始	終了	時間	内容	講師等
9:30			受付	
10:00	10:00	5分	開会のあいさつ	沖縄県地域連携相談支援センター長 増田 直人
10:00	11:00	20分	講演① 千葉県がんピアサポート 事業について	NPO法人支えあひ会「707」副理事長 野田 真由美 氏
11:00	11:00	20分	講演② がん患者の心のケアと ピアサポート	国立がんセンター東病院 神経腫瘍科長 先端医療研究センター 神経腫瘍科 相談分科長 小川 朝生 先生
11:00		5分	閉会のあいさつ	沖縄県地域連携相談支援センター長 増田 直人

お問い合わせ
 沖縄県地域連携相談支援センター(がんピアサポート相談室)
 〒903-0215 西原町字上原207番地
 琉球大学医学部附属病院内 3階フロア
 TEL:098-942-3407(直通) FAX:098-942-3408

▲講演会_チラシ裏面

がんピアサポーター フォローアップ研修会

参加
無料

このたび、ピアサポーター養成講座を修了された方を対象に、実践上を固めるとともに今後引き継ぎ可能なピアサポート活動を行っていただくため、フォローアップ研修会を開催いたします。
研修会ではピアサポートに関する基礎知識の再確認やコミュニケーションスキル等の修習、今後のご自身の対応を振り返る場を設け、次のステップアップへの足りをお手伝いいたします。第1部「理論」、第2部「グループワーク」の2部構成となっており、第1部はピアサポートに関わるすべての役割に対してご自身の役割もご説明いたします。また、多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

日時：平成30年12月2日(日)
会場：筑大病院敷地内 大学院セミナー室 ※会場詳細は随時更新

● 第1部 講演会 10:00~12:00 ※ピアサポートに関わるすべての役割を対象、申込不要
国立がん研究センター精神腫瘍科/小川 朝生 先生、NPO法人がんピアサポーター会「ら」 理事長/野田 真由美 先生、千葉県がんセンターピアサポート・取組の推進と発展をお話しします。

時間	内容	講師
9:30~	開場・受付開始	
10:00~	開会	千葉県地域統括支援センター 堀田 麗人
10:05~ (50分)	講演① 千葉県がんピアサポート事業について	NPO法人支援会「ら」 副理事長 野田 真由美 氏
11:00~ (50分)	講演② がん患者の心のケアとピアサポート	国立がん研究センター-乳腺科 精神腫瘍科長 乳腺腫瘍科長 精神腫瘍科 開発部長 小川 朝生 先生

● 第2部 研修会 13:00~16:00 ※ピアサポート参加経験者対象
書き言葉で活動する中で見えてくる課題、不足点など、ご自身の対応を振り返りながらグループで話し合い、経験の共有を促します。

時間	内容	講師
13:00~ (研修会) (90分)	ロールプレイによる 実践的トレーニング 「より良いサポートのために」	がんアンバサダー/ 野田 真由美 氏 アンバサダー/ 小川 朝生 氏 *千葉県がんセンター *千葉県立中央病院 がんセンター *千葉県立中央病院 がんセンター *筑大病院 がんセンター *がんアンバサダー *がんアンバサダー *がんアンバサダー


● 第3部 交流会 16:00~16:30 ※当センターピアサポーター対象
平成30年の活動をスライド等で振り返り、次年度に向けての意見交換を行います。

主催：千葉県地域統括支援センター

講師紹介


専門領域 精神医学、精神看護学
専門性-認定資格等 日本精神看護学会 精神科専門看護師 日本看護協会 認定看護師

略歴
1999年 大阪大学大学院医学部 卒業
2004年 大阪大学大学院医学部 精神科 講師
2007年 国立がんセンター-乳腺科 精神腫瘍科 医員
2009年 国立がんセンター-乳腺科 臨床開発センター
2012年 国立がん研究センター-乳腺科 臨床開発センター
精神腫瘍科 臨床開発センター
精神腫瘍科 臨床開発センター
精神腫瘍科 臨床開発センター
2018年 国立がん研究センター-乳腺科 臨床開発センター
精神腫瘍科 臨床開発センター
精神腫瘍科 臨床開発センター
2019年 国立がん研究センター-乳腺科 精神腫瘍科
乳腺腫瘍科 臨床開発センター



高橋 孝志 先生
小川 朝生 先生

NPO法人支援会「ら」 副理事長
千葉県がんピアサポート事業に立ち上がり、関わり
ピアサポーターの育成や活動の推進、活動支援を行っている。
平成23、24年度「厚生労働省発注事業」がん総合相談に携わる者
への研修プログラム認定/作業委員会委員/研修委員。
平成30年度「厚生労働省発注事業」日本サイコロジ学会
がん総合相談ワークショップ/委員として、ピア研修プログラム
改訂作業に当たっている。



西田 真由美 氏

会場MAP



お問い合わせ
千葉県地域統括支援センター TEL:095-942-3407(直通) FAX:095-942-3405

▲ピアサポーター向け_チラシ表面

▲ピアサポーター向け_チラシ裏面

・平成30年11月30日(金)付 琉球新報「ちょBit」掲載

全国の自治体の取り組みから、
アイデアが生まれました。

47行政ジャーナルの
無料お試しはこちらへ

株式会社琉球新報社 経営戦略局
電話：098-865-5191
メール：media@ryukyushimpo.co.jp

琉球新報社
共同通信社

患者会視察及び意見交換会報告書

【目的】

相談室にてピアサポートをする際に患者会の紹介も行うため、実際の活動の様子を視察するとともに相互の連携を取るための意見交換を行う。

【概要】

1. 名称 中部地区ゆんたく会
2. 日時 平成 30 年 12 月 25 日（火） 14：00～16：20
 - 沖縄の野草について 14：00～15：30
 - ゆんたく会 15：30～16：30
3. 場所 沖縄県立中部病院 第 3 会議室
4. 参加者 沖縄県立中部病院 がん相談支援センター
副看護師長 島袋 幸代 様
沖縄県地域統括相談支援センター相談員 西村 克敏
沖縄県地域統括相談支援センター相談員 橋本 佳奈
沖縄県地域統括相談支援センター担当者 浦崎 美由貴

【内容】

来年度、院内患者サロンへ定期的に参加することから、視察もかねて中部地区ゆんたく会を訪ねた。県内拠点病院の 1 つである沖縄県立中部病院にて毎月第 4 火曜日に行われている。「沖縄の野草について」の講座、ゆんたく会ではその薬草について質問等があった。また当日はクリスマスということもあり、職員たちが「ベル」で演奏を披露、参加者をもてなしていた。

【所管】

まずお部屋に入っただけの印象として、窓のない会議室であったが明るく温かさを感じた。また参加者の様子を伺っていると、初めての方もいらっしゃったが皆さん楽しそうにされていて、講座中も臆することなく質問したり、お隣同士で確認し合ったりと、和やかに会が進んでいた。島袋様は「会を開催するにあたって大切にしていることは、参加されているピアの方々話しやすい場の提供と会の始まりに背中を少し押してあげること、初めて参加される方への気配りぐらいです」とおっしゃっていたが、人柄も含め参加者との信頼関係、雰囲気づくりを大事にされ、職員、病院の協力体制が整っていることが伺えた。各拠点病院での院内患者サロンでは、それぞれの色があって当然だが、中部地区特有の明るさがあり反映されているとも思った。しかしその一方で、「他病院同様、毎月開催してはいるが参加者の体調等もあり、なかなか人が集まらない月もあるので難しい。ピアサポータ

一の方が来てくれると、同じがん種の方への声掛け等もできるので是非参加してほしい」ともおっしゃっていた。ピアサポーターの活動の場を創出、広げるとともに、どう周知していくかが課題でもあるので、さらに連携体制を整え継続していくことを確認した。



▲看護師の方がボランティアで作っている乳がん対応の胸パッド。

サイズはS～3Lまで、綿を詰めるなどして自分でも大きさを調整でき、洗濯ネットに入れて洗濯できるとのこと。

【当日の様子】

